

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 21 日 (2015.5.21)

【公表番号】特表 2013-518540 (P2013-518540A)

【公表日】平成 25 年 5 月 20 日 (2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報 2013-025

【出願番号】特願 2012-549462 (P2012-549462)

【国際特許分類】

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

H 0 2 M 3/28 (2006.01)

【F I】

H 0 2 M 3/155 Q

H 0 2 M 3/28 Q

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 2 日 (2015.4.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電力変換装置であって、

前記電力変換装置を固定の周波数で動作させる制御回路と、

第 1 電気コイルと、

前記第 1 電気コイルに関連し、前記制御回路に応じる第 1 電子制御スイッチであって、
前記第 1 電子制御スイッチが閉じた状態に対応して前記第 1 電気コイルを蓄電し、前記第
1 電気コイルの電流の最大値が前記電力変換装置の出力に必要な最小電流となるように、
前記第 1 電子制御スイッチがオンとなっている時間が選定される前記第 1 電子制御スイッ
チと、

前記第 1 電気コイルに関連し、前記制御回路に応じる第 2 電子制御スイッチであって、
前記第 1 電気コイルの電流の負の値が、前記第 1 電子制御スイッチ及び前記第 2 電子制御
スイッチの接点の電位が前記電力変換装置の入力電圧に達するのに必要な最小値となるよ
うに、前記第 2 電子制御スイッチがオンとなっている時間が選定される前記第 2 電子制御
スイッチと、

第 3 電子制御スイッチが閉じたときに前記第 1 電気コイル両端間でほぼ短絡するように
し、前記電力変換装置のサイクル時間を固定値まで広げることができる前記第 3 電子制御
スイッチであって、前記制御回路に応じ、前記第 1 電気コイルを蓄電または放電しないよ
うにされている前記第 3 電子制御スイッチと、を含み、

前記第 1 電子制御スイッチ、前記第 2 電子制御スイッチ及び前記第 3 電子制御スイッチ
各々は、各電子制御スイッチ両端間の電圧がほぼゼロのときだけ閉じられることを特徴と
する、電力変換装置。

【請求項 2】

前記第 1 電気コイルに磁気結合された第 2 電気コイルをさらに含み、

前記第 3 電子制御スイッチが閉じたときに前記第 2 電気コイル両端間でほぼ短絡するよ
うに前記第 3 電子制御スイッチは前記第 2 電気コイルに接続され、前記第 2 電気コイル両
端間の短絡が前記第 1 電気コイルに反映されることにより前記第 1 電気コイル両端間で前
記ほぼ短絡することを特徴とする請求項 1 に記載の電力変換装置。

【請求項 3】

前記制御回路に応じる第 4 電子制御スイッチであって、前記第 2 電気コイルをほぼ短絡させるため前記第 3 電子制御スイッチと協働するようにした前記第 4 電子制御スイッチをさらに含み、前記制御回路は、前記第 4 電子制御スイッチ両端間の電圧がほぼゼロのときだけ前記第 4 電子制御スイッチを閉じることを特徴とする、請求項 2 に記載の電力変換装置。

【請求項 4】

前記第 1 電気コイルの所定電流値に応じて前記ほぼ短絡するようにした前記制御回路を特徴とする請求項 1 に記載の電力変換装置。

【請求項 5】

前記制御回路が周期を有するパルス幅変調機能を含み、前記周期の所定の時点まで前記ほぼ短絡を維持するようにした前記制御回路を特徴とする請求項 4 に記載の電力変換装置。

【請求項 6】

前記電力変換装置が、バックコンバータ、ブーストコンバータ、フライバック・コンバータ、フォワード型コンバータ、プッシュプル型コンバータ、ハーフブリッジ型コンバータのうちの一つである請求項 1 に記載の電力変換装置。

【請求項 7】

電力変換装置であって、

前記電力変換装置を固定の周波数で動作させる制御回路と、

エネルギー変換のための電磁誘導手段と、

前記エネルギー変換のための電磁誘導手段に関連し、前記制御回路に応じる第 1 電子制御スイッチであって、前記第 1 電子制御スイッチの閉状態に応じて前記エネルギー変換のための電磁誘導手段を蓄電し、前記エネルギー変換のための電磁誘導手段の電流の最大値が前記電力変換装置の出力に必要な最小電流となるように、前記第 1 電子制御スイッチがオンとなっている時間が選定される前記第 1 電子制御スイッチと、

前記エネルギー変換のための電磁誘導手段に関連し、前記制御回路に応じる第 2 電子制御スイッチであって、前記エネルギー変換のための電磁誘導手段の電流の負の値が、前記第 1 電子制御スイッチ及び前記第 2 電子制御スイッチの接点の電位が前記電力変換装置の入力電圧に達するのに必要な最小値となるように、前記第 2 電子制御スイッチがオンとなっている時間が選定される前記第 2 電子制御スイッチと、

第 3 電子制御スイッチが閉じたときに、前記エネルギー変換のための電磁誘導手段両端間でほぼ短絡するようにし、前記電力変換装置のサイクル時間を固定値まで広げることができる前記第 3 電子制御スイッチであって、前記制御回路に応じ、前記エネルギー変換のための電磁誘導手段を蓄電または放電しないようにされている前記第 3 電子制御スイッチと、を含み、

前記第 1 電子制御スイッチ、前記第 2 電子制御スイッチ及び前記第 3 電子制御スイッチ各々は、各電子制御スイッチ両端間の電圧がほぼゼロのときだけ閉じられることを特徴とする、電力変換装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】 図面

【訂正対象項目名】 図 3 A

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【図 3 A】

